

# 平成18年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

数	学	専	攻	専門科目(午前)
---	---	---	---	----------

次の [1], [2], [3] の全問に解答せよ.

[1]  $a, b, c \in \mathbb{R}$  を実定数とする. 三つの実数  $e, f, g$  に対し, 初期値を  $x_0 = e, x_1 = f, x_2 = g$  とし漸化式

$$(*) \quad x_{n+3} = -ax_{n+2} - bx_{n+1} - cx_n \quad n = 0, 1, 2, \dots$$

で定義される数列  $x_0, x_1, x_2, \dots$  を考える.

(1)  $A = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \\ -c & -b & -a \end{pmatrix}$  とおく.  $\begin{pmatrix} x_{n+1} \\ x_{n+2} \\ x_{n+3} \end{pmatrix} = A \begin{pmatrix} x_n \\ x_{n+1} \\ x_{n+2} \end{pmatrix}$  を示せ.

(2) 上の行列  $A$  が正則行列となる必要十分条件を,  $a, b, c$  を用いて表せ.

(3)  $A$  が正則行列とならないとき,  $A$  の階数を求めよ.

(4)  $A$  が正則行列であるとする. 漸化式 (\*) の解数列  $(x_n)$  が途中から全て 0 になる, すなわちある  $n_0$  が存在して  $0 = x_{n_0} = x_{n_0+1} = x_{n_0+2} = \dots$  となるならば, 初期値  $(e, f, g)$  は  $(0, 0, 0)$  であることを示せ.

(5)  $A$  の固有多項式を求めよ.

(6) ある初期値  $(e, f, g)$  に対し漸化式 (\*) の解数列  $(x_n)$  がちょうど周期 3 で循環したとする. すなわち

$$x_{n+3} = x_n \quad (n = 0, 1, 2, \dots)$$

が成り立ち, かつ  $x_0 = x_1 = x_2 = x_3 = \dots$  ではないとする. このとき,  $A^3$  は固有値 1 を持つことを示せ.

(7) (6) の条件が満たされるとき,  $x_n = (-c)^n$  も (\*) の解数列であることを示せ.

# 平成18年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

数	学	専	攻	専	門	科	目	(	午	前	)
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

[2] 以下, 通常通り  $\log$  は自然対数を,  $e$  は自然対数の底を表すものとする.

- (1)  $u > 0$  において,  $\log(1+u) < u$  であることを示せ.
- (2)  $x > 0$  において,  $(x+1)\log\left(1+\frac{1}{x}\right)$  が単調減少関数であることを示せ.
- (3)  $x > 0$  において,  $\left(1+\frac{1}{x}\right)^{x+1}$  は単調減少関数であることを示せ.
- (4)  $x > 0$  において,  $\left(1+\frac{1}{x}\right)^x$  は単調増加関数であることを示せ.
- (5)  $x > 0$  において,  $\left(1+\frac{1}{x}\right)^x < e < \left(1+\frac{1}{x}\right)^{x+1}$  が成立することを示せ.  
(数列  $\left(1+\frac{1}{n}\right)^n$  ( $n=1,2,3,\dots$ ) が  $e$  に収束することは用いても良い.)
- (6)  $x > 0$  において,  $1 < \frac{e^x}{\left(\left(1+\frac{1}{x}\right)^x\right)^x} < e$  が成立することを示せ.
- (7)  $\lim_{x \rightarrow +\infty} \frac{e^x}{\left(\left(1+\frac{1}{x}\right)^x\right)^x}$  を求めよ.

# 平成18年度 広島大学大学院理学研究科入学試験問題

数	学 専 攻	専門科目 (午前)
---	-------	-----------

[3]  $\mathcal{K}$  を, 平面  $\mathbb{R}^2$  内の空でないコンパクト集合 (すなわち有界閉集合) の全体とする.

- (1) 次の集合のうちで,  $\mathbb{R}^2$  の開集合であるものを全てあげよ. また,  $\mathcal{K}$  に属するものを全てあげよ.  
(ごく簡単な説明を沿えよ.)

$$(a) \{(x, y) \mid x^2 + y^2 = 1\} \quad (b) \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 1\} \quad (c) \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \geq 1\}$$

以下, 空でない部分集合  $A \subset \mathbb{R}^2$ , 点  $x \in \mathbb{R}^2$ , 空でない部分集合  $B \subset \mathbb{R}^2$  に対し

$$d(x, A) = \inf_{a \in A} |x - a|$$
$$\sigma(B, A) = \sup_{b \in B} d(b, A)$$

と定義する.

- (2) (1) の (a) の集合を  $A$ , (b) の集合を  $B$  としたとき,  $d(0, A)$  および  $\sigma(B, A)$  を求めよ.  
(3)  $A \in \mathcal{K}$ ,  $x \in \mathbb{R}^2$  とする. このとき, ある  $a \in A$  が存在して

$$d(x, A) = |x - a|$$

が成立することを示せ.

- (4)  $A \in \mathcal{K}$  を固定するとき,  $d(x, A)$  は  $x$  の関数として  $\mathbb{R}^2$  上連続であることを示せ.  
(5)  $A, B \in \mathcal{K}$  に対し,  $\sigma(B, A) = 0$  となる必要十分条件が  $B \subset A$  であることを示せ.  
(6)  $A, B \in \mathcal{K}$  に対して

$$\delta(A, B) := \max\{\sigma(A, B), \sigma(B, A)\}$$

とおく.  $\delta$  が  $\mathcal{K}$  上の距離となるために満たさなくてはならない公理を書け.

- (7) (6) の  $\delta$  が距離になることを証明せよ.